

## エコナノ COAT の塗り方、応用編

1 罫で  $60\text{ m}^2 \sim 80\text{ m}^2$  (最大) 塗布が目安です。

エコナノ COAT はたっぷりの量を塗布する事を心がけましょう。  
エコナノ COAT は、床材にしっかり塗ってしっかり浸透させなければなりません！  
すべりが良く塗りやすいので、思わず広く塗り伸ばしてしまわないように注意！

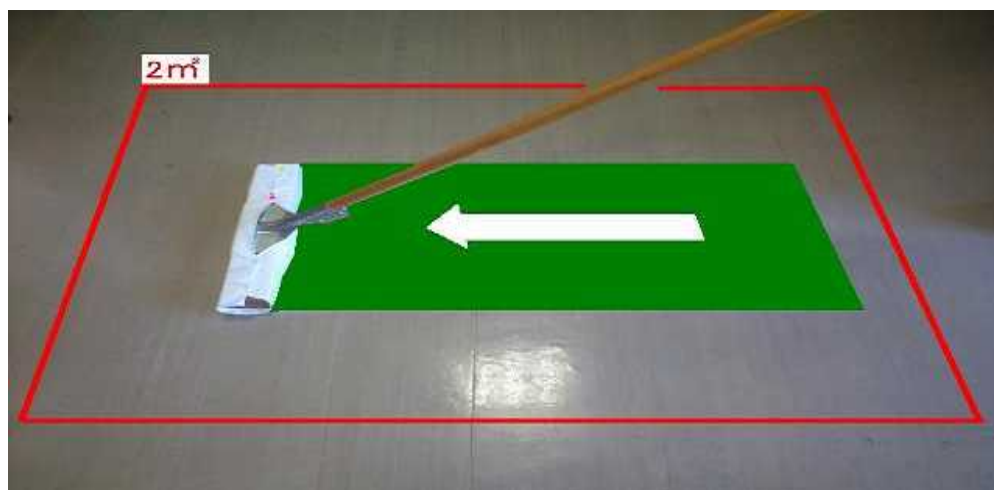
(床材に浸透させて、床材の性質を変えろと考えて下さい)

1 回の塗布作業は以下の写真のとおり、全面にたっぷり液をつけて  $2\text{ m}^2$  を目安に行ってください。

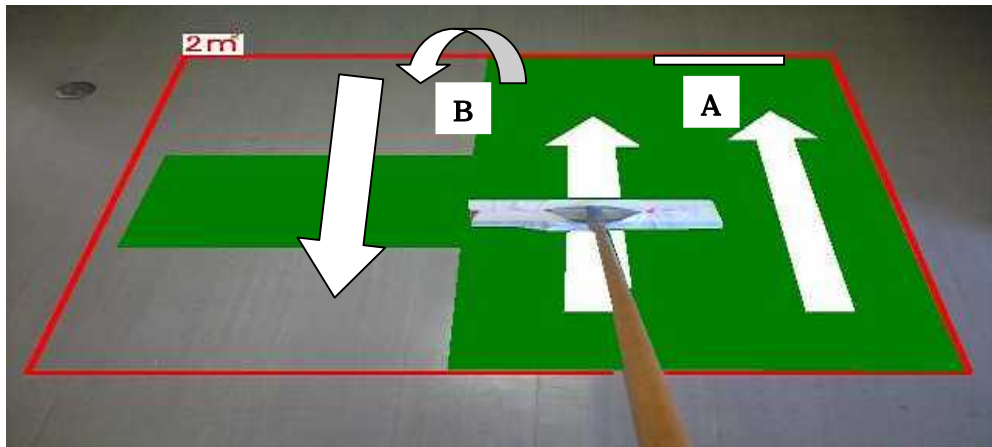
布モップ全面にしっかりエコナノ COAT をつける。



1 回の塗布作業を  $2\text{ m}^2$  ほどとし、まずはその  $2\text{ m}^2$  の中央で「横」に 1 本塗り伸ばす。



横に塗り伸ばした 1 本を、次は「縦」に順次塗り伸ばして全面を覆います。



あとはこの作業をていねいに繰り返すだけです。

上に押し延ばしたときに、横に線が出来る場合 (A) には、止めないで回すようにして (B) 引き戻してください。

以上のように、横に塗り広げたものを縦に塗り広げることによってたっぷりの量を均一に塗布することが大事です！

**翌日現場確認をし、浸透し過ぎの場所や擦れた場所は  
タオル等で部分再塗布して修復して下さい、境界は目立ちません。**

## <T字モップへのエコナノ COAT の付け方の目安は！>

ワックスと同様に塗布用のボックスにコート剤を入れて  
T字ハンドルを溶液に浸して後、余分なコート剤を絞る (切る)  
(切る目安は、T字モップを持ち上げた時に垂れ落ちない程度にたっぷりつける)

**少なすぎるより多すぎる方が良い**

### 応用編の塗布方法 2 種類

強洗浄し、ワックスを 1 枚残した状態でエコナノ COAT を塗布する。  
作業性の容易さ、コストダウンが主目的である。

完全剥離洗浄後、ワックスを 1 層塗布してからエコナノ COAT を塗布する。  
作業性、コストダウンに加えて光沢を求める方法である。

**間にワックスを 1 枚入れるため塗布作業は自然と塗布し易く  
塗布面積も自然と拡大する**

## エコナノWATERのメンテナンス

通常の洗浄作業の流れの中での水拭き作業のまま、水モップ拭きで完了である。  
違いは、75倍希釈のエコナノWATERを使用するだけです。

ペール缶の下のラインまで水を入れ（15リッター）その中にエコナノWATERを  
200cc入れるだけで75倍希釈のエコナノWATERが出来上がります。

あとは通常の水拭き作業として、丁寧に作業をするだけです。

（従来どうりのやり方です）

**それでも光沢が無くなって来たら！**

## ミスト・アドのメンテナンス（原液使用）



エコナノWATER拭きの延長で行います。  
横振り、縦振りを交えた格子塗りの要領です。  
拭きあげる細かさ緻密さが、被膜の品質を造ります。

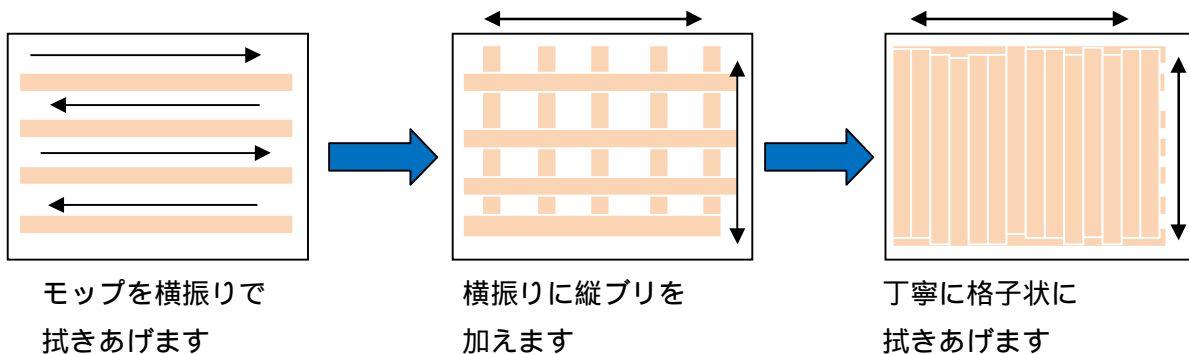
使用後の糸モップの洗浄を丁寧にしないと硬化する  
事があります。

**横振り、縦振りを交えた格子塗りのイメージを図示します。**

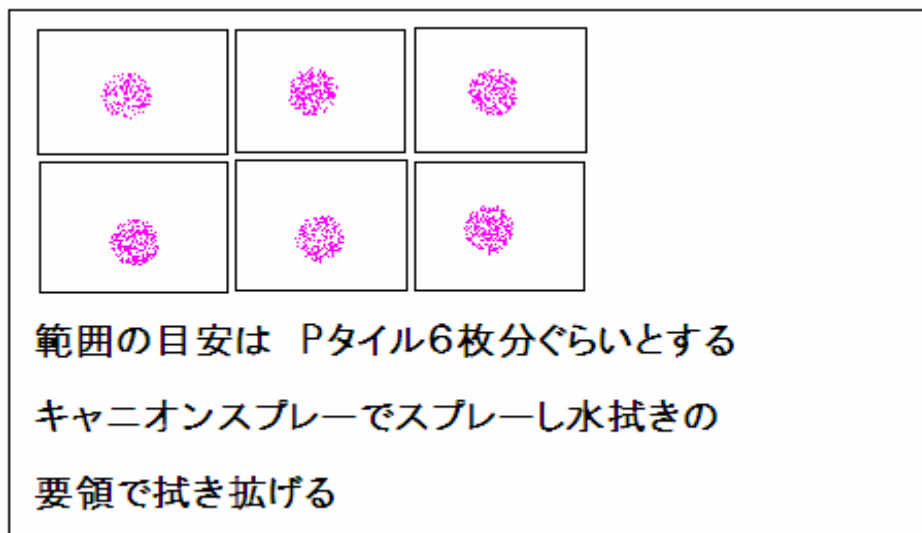
キャニオンスプレー等でスプレーした後、水モップで拭きあげて行きます。

丁寧に拭きあげると被膜として形成されます。

ミストの大きさは中位にする（風に流されない程度）



糸モップを絞る強さ等は体得して下さい、出来た被膜の状態を見て  
次へ進むかどうかの断をして下さい。



- 1) キャニオンスプレーで6箇所スプレーする  
 硬く絞った水モップで水拭きの要領で拭きあげる
- 2) 最初は1㎡～2㎡ぐらいの範囲で作業し慣れてきたら面積を広げて行く
- 3) 小さく区切って施工し、広げて行く、小面積で慣れてから大面積に移行する
- 4) スプレーの量は慣れてくると自然とつかめてくるし、作業も早くなって来る  
 (30分ぐらいで作業慣れし広範囲に施工できる)

### (注意事項)

あくまでもエコナノCOATの上に施工する事  
 ワックスの上から施工するとワックスを壊し部分破壊する  
 ワックスがある場合、強洗浄または剥離洗浄をしてワックスを除去してから施工する

現段階では凝固促進の関係上、2液混合したら使い切ってください  
**日持ちしません**

浸透部分の深い部分が、凝固が遅い場合があります。歩行時に注意して下さい。  
 (唯一注意のいる部分です)

レベリング性が上がり拭き上げも随分易しくになりました。  
 乾燥時間も1時間から**30分**に短縮されました。(温度により差が出ます)  
 \* 冬場は低温の影響で床面温度が下がるのでエアコンで温めておきましょう